

ごあいさつ

～ 清く・正しく・明るく ～

「福島県立視覚支援学校」ホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は、明治31年に渋木重庵、高橋金七、長沢正太郎氏らのご尽力により、福島第一尋常高等小学校の一部に、私立福島訓盲学校として創立されました。昭和19年には、県立へ移管され、福島県立福島盲啞学校に改称となり、その後数度の名称変更を経て現在に至っています。

今年、創立から126年目を迎えますが、開校以来、長年にわたり保護者の皆様をはじめ地域の方や関係機関等の皆様の多大なるご理解とご支援を受け、今日を迎えることができますこと改めて感謝申し上げます。

令和6年4月現在、幼児童生徒数は、幼稚部1C(0名)、小学部5C(9名)、中学部2C(2名)、高等部普通科・保健理療科5C(8名)、専攻科理療科2C(4名)、計15C、23名が在籍しております。

子どもたちそれぞれに、見え方を支える視点に違いはありますが、すべての子どもたちが安全に安心して学ぶことができる最適な環境を整え、社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を身につけられるように日々、教育実践の充実に努めております。また小・中学校や高等学校等に準じた教育課程を取り入れるとともに、将来を見据え、専門性の向上を図るため、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格の取得を目指した職業教育にも励んでおります。

将来の幸福な社会生活に向け、子ども一人一人が健康で、『清く』澄んだ心と、感じる心を育み、確かな学びから、『正しく』生きていく術を身につけ、『明るく』強く、そしてしなやかに成長していくことができるよう、「学校経営・運営ビジョン～清く・正しく・明るく～(別紙)」を作成しました。

ふくしまの未来を創り、輝く子どもたちの夢や希望を実現するため、「地域で共に学び、共に生きる教育」の基本理念の下、自立と社会参加に向けた、確かな学力と豊かな心の育成に努め、学校としての役割と責任を果たして参りたいと考えます。

このホームページには、日頃の子どもの活動の様子や教育活動の成果などを紹介しております。様々な角度から多くの視点でご覧いただき、視覚支援学校を知っていただきたいと思っておりますので今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



校長 佐藤 清悦